バックアップおよび復元

ユーザ ガイド

© Copyright 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第 3 版：2008 年 6 月

初版：2008 年 6 月

製品番号：463806-294

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1　概要

情報を保護するには、[バックアップと復元センター]を使用して、 個々のファイルやフォルダをバックアップしたり、ハードドライブ全体をバックアップしたり（一部のモデルのみ）、システムの復元ポイントを作成したりします。システムに障害が発生した場合は、バックアップ ファイルを使用して、コンピュータの内容を復元することができます。

[バックアップと復元センター]には、以下のオプションが用意されています。

- 個々のファイルやフォルダのバックアップ
- ハードドライブ全体のバックアップ（一部のモデルのみ）
- 自動バックアップのスケジュールの設定（一部のモデルのみ）
- システムの復元ポイントの作成
- 個々のファイルの復元
- 以前の状態へのコンピュータの復元
- リカバリ ツールによる情報の復元

注記：　詳しい手順については、[ヘルプとサポート]でこれらの項目を参照してください。

注記：　システムが不安定な場合に備え、復元の手順を印刷し、後で利用できるように保管しておくことをおすすめします。

2　情報のバックアップ

システムに障害が発生した後に復元を実行すると、最も新しいバックアップが使用されます。ソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐに初期バックアップを作成してください。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。

バックアップを行う場合は、以下の点に注意してください。

- 個人ファイルを[ドキュメント]フォルダに保存して、定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショットを撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、スクリーン ショットを撮っておくと時間を節約できます。

  スクリーン ショットを作成するには、以下の手順で操作します。

  1. 保存する画面を表示します。
  2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。

     アクティブなウィンドウだけをコピーするには、**[alt ＋ fn ＋ prt sc]**キーを押します。

     画面全体をコピーするには、**[fn ＋ prt sc]**キーを押します。
  3. ワープロ文書などを開き、**[編集]→[貼り付け]**の順に選択します。

     画面のイメージが文書に追加されます。
  4. 文書を保存します。
- ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD+R（2 層記録（DL）対応）、DVD-R、DVD-R（2 層記録（DL）対応）、および DVD±RW。使用するディスクはコンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブの種類によって異なります。

  注記：　DVD および 2 層記録（DL）対応 DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。
- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピュータのオプティカル ドライブに挿入します。

[バックアップと復元センター]を使用してバックアップを作成するには、以下の手順で操作します。

注記： お使いのコンピュータが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやコンピュータの処理速度に応じて、バックアップ処理には 1 時間以上かかることがあります。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元センター]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って、コンピュータ全体（一部のモデルのみ）またはファイルをバックアップします。

   注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows®には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

3 復元の実行

お使いのコンピュータには、システムの障害やシステムが不安定な場合に備え、ファイルを復元する以下のツールが用意されています。

- Windows リカバリ ツール：[バックアップと復元センター]を使用して、以前バックアップを行った情報を復元できます。また、Windows の［スタートアップ修復］を使用して、Windows が正常に起動できなくなる可能性のある問題を修復できます。
- f11 リカバリ ツール：f11 リカバリ ツールを使用して、初期状態のハードドライブのイメージを復元できます。このイメージには、工場出荷時にインストールされていた Windows オペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムが含まれます。

注記： コンピュータを起動できない場合は、Windows Vista®オペレーティング システム DVD を購入してコンピュータを再起動し、オペレーティング システムを修復する必要があります。詳しくは、このガイドの「別売の Windows Vista オペレーティング システム DVD の使用」の項目を参照してください。

Windows リカバリ ツールの使用

以前バックアップした情報を復元するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元センター]**の順にクリックします。
2. 画面に表示される説明に沿って、コンピュータ全体（一部のモデルのみ）またはファイルを復元します。

注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

[スタートアップ修復］を使用して情報を復元するには、以下の手順で操作します。

注意： [スタートアップ修復]を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピュータ上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、復元に使用されるバックアップから、オペレーティング システム、ドライバ、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

1. 可能であれば、すべての個人ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、Windows のパーティションと HP 復元用パーティションがあることを確認します。パーティションを確認するには、**[スタート]→[コンピュータ]**の順に選択します。

   注記： Windows のパーティションと HP 復元用パーティションが削除されている場合は、Windows Vista オペレーティング システム DVD と Driver Recovery（ドライバ リカバリ）ディスク（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、このガイドの「別売の Windows Vista オペレーティング システム DVD の使用」の項目を参照してください。

3. コンピュータを再起動した後、Windows オペレーティング システムがロードされる前に f8 キーを押します。
4. **[コンピュータの修復]**を選択します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

注記： Windows ツールを使用した情報の復元について詳しくは、[ヘルプとサポート]でこれらの項目を参照してください。

f11 キーによるハードドライブの復元

△ **注意：** f11 を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピュータ上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。f11 キーのリカバリ ツールを使用すると、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システム、HP プログラム、およびドライバが再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェアは、再インストールする必要があります。

f11 を使用して初期状態のハードドライブのイメージを復元するには、以下の手順で操作します。

1. 可能であれば、すべての個人ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば HP 復元用パーティションがあることを確認します。HP 復元用パーティションを確認するには、**[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。

   注記： HP 復元用パーティションが削除されている場合は、Windows Vista オペレーティング システム DVD と Driver Recovery（ドライバ リカバリ）ディスク（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、このガイドの「別売の Windows Vista オペレーティング システム DVD の使用」の項目を参照してください。

3. コンピュータを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
4. [Press <F11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

別売の Windows Vista オペレーティング システム DVD を使用した情報の復元

コンピュータを起動できない場合は、Windows Vista オペレーティング システム DVD を購入してコンピュータを再起動し、オペレーティング システムを修復する必要があります。最新のバックアップ（ディスクか外付けドライブに保存されているもの）にすぐにアクセスできることを確認します。Windows Vista オペレーティング システム DVD を購入するには、http://www.hp.com/jp/にアクセスしてお使いのコンピュータ用のサービスおよびサポート情報を確認してください。 また、電話でお問い合わせになる場合は、製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』を参照してください。日本以外の国や地域については、製品に付属の冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください。

△ **注意：** Windows Vista オペレーティング システム DVD を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピュータ上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、オペレーシング システム、ドライバ、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

Windows Vista オペレーティング システム DVD を使用して復元を開始するには、以下の手順で操作します。

注記： この処理には数分かかる場合があります。

1. 可能であれば、すべての個人ファイルをバックアップします。
2. コンピュータを再起動した後、Windows オペレーティング システムがロードされる前に、Windows Vista オペレーティング システム DVD をオプティカル ドライブに挿入します。
3. 指示が表示されたら、任意のキーボード キーを押します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. **[コンピュータの修復]**を選択します。
7. 画面に表示される説明に沿って操作します。

索引